

山川均譯 (ハワード・ムウア著) 四六判箱入頗美裝

# 文明人の野蠻性

定價金一圓六十錢  
送料 十二錢

文明人の一皮剥ぐと下から忽ち野蠻人が出る！ 家畜は開化したる野獸である！ 文明人は家畜化したる野蠻人に過ぎぬ。故に現代の人間の心理と、社會生活とは決して永久不變のものではなく、常に變化の過程にあるものである。社會生活に起る一切の悲惨と、矛盾と、不合理とは、人間が現在に生きずして過去を生きつゝあるに依る。生物學上の最高知識を日常生活の水準に引き卸し、肆々として盡きざる興味の中に人生問題、社會問題の急所に突進せしむるものは本書である。

大杉 榮譯 (ハワード・ムウア原著)

# 人間の正體

四六判三百頁  
箱入頗美裝  
定價二圓五十錢  
送料 八錢

水の中に住む者も、砂の中に住む者も、地の穴の中に住む者も、宮殿の中に住む者も、巢窟を營む者も、帝國を築く者も、また遊ぶ者も、飛ぶ者も、匍ふ者も、歩む者も、苟もこの地球の上に住む萬物は總て血族である！

この萬物の血族關係を、單に美はしい理想として、空想として、はなく、生物學上の適確な事實によつて論證したるものは本書である。闘士として革命家として、常に社會的闘争の戦線に馳驅してゐる著者が、其冷靜なる研究者の半面を以つて、靜かにこの興味ある問題を講じた本書が、讀者に大なる感興を與へることを疑はぬ。



クロボトキン原著  
山川均譯補

四六判箱入背白布  
頗高雅

# 動物界の道德

定價 一圓五十錢  
送料 金 八 錢

ゲーテは、駝鳥の母親が二羽のミッサワイの孤兒を養つたと云ふ物語を聞えて、「之は今迄不可解の宇宙の謎をも解く事が出来る」と云ひ、クロボトキンは下等動物から人間に至る迄、生活の原則と進化の要素とは相互の闘争ではなく、相互の扶助にある事を證明した。本書は其の中動物社界の道德が如何に眞摯にして美はしきものなる乎を説いたものである。讀者は本書に依つて現代人間社會の誤れる道德の發達を知り、虚偽、壓迫に今更憤怒を感ずると同時に、譯者の麗筆に酔はずには居られまい。



500  
42



終

